

『小さくても輝く鳴沢村』を目指して

令和4年度 当初予算

一般会計 歳入歳出 21億1,447万円

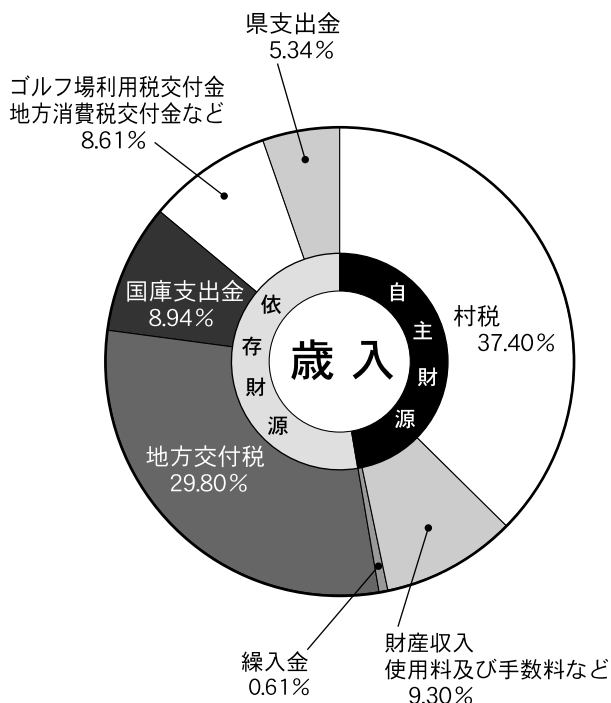
(対前年度 3,177万円、1.53%の増)

歳入

項 目	予 算 額
自主財源	10億41万6千円
47.31%	
村税	7億9,071万1千円
財産収入	5,087万1千円
繰越金	5,000万円
諸収入	4,650万8千円
寄附金	2,554万円
使用料及び手数料	2,215万1千円
繰入金	1,292万2千円
分担金及び負担金	171万3千円
依存財源	11億1,405万4千円
52.69%	
地方交付税	6億3,011万5千円
国庫支出金	1億8,902万6千円
県支出金	1億1,286万3千円
地方消費税交付金	7,700万円
ゴルフ場利用税交付金	5,000万円
地方譲与税	3,030万円
法人事業税交付金	780万円
環境性能割交付金	420万円
株式等譲渡所得割交付金	350万円
村債	290万円
地方特例交付金	280万円
配当割交付金	260万円
交通安全対策特別交付金	60万円
利子割交付金	35万円
歳入合計	21億1,447万円

自主財源…村が自主的に収入できる財源

依存財源…地方交付税、国・県支出金、各種交付金、地方債など、国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする収入



※割合は、端数調整しています

歳入

一般会計歳入予算の概要

自主財源全体では総額10億41万6千円で、前年度比△2.88%、2,966万6千円の減となりました。

村税収入については、新型コロナウイルス感染症が及ぼす社会・経済活動への影響は不透明であるものの、事業者向けの軽減措置の終了に伴い固定資産税の増が見込まれることや村民税、法人村民税などが前年度より増加する見込みであることから、前年度比11.14%、79,235千円の増となりました。

基金からの繰入金については、ふるさと応援寄附基金12,922千円を活用し各種事業へ充当を行います。また、今年度は歳入不足が見込まれないことから財政調整基金からの繰入れを行わないため、前年度比1億3,893万8千円の皆減となりました。

依存財源全体では、総額11億1,405万4千円で、前年度比5.84%、6,143万6千円の増となりました。

地方交付税については、収入全体の29.8%を占めており、財源を交付税に依存しているところでもあります。

村債については、道の駅なるさわの電気設備改修工事に伴う基本計画及び設計業務委託の財源として、70%交付税措置される有利な緊急防災・減災事業債の借入れを行う予定です。

今年度についても、不急の支出を抑え、新型コロナ対策に備えるとともに、可能な限り、国庫支出金及び県支出金などの有利な補助金を積極的に確保したうえでの予算編成を行いました。

性質別歳出

義務的経費

義務的経費とは、地方自治体の一般歳出のうち、支出することが制度的に義務づけられている経費のことをいいます。具体的には人件費、扶助費及び公債費の3つから成っています。義務的経費については、前年度比△0.2%、159万1千円の減となっています。

投資的経費

投資的経費とは、道路や施設の建設等、支出の効果が将来に残る社会資本の整備に要する経費で、具体的には普通建設事業費等をいいます。補助事業費については、前年度比△86.35%、9,284万4千円の減で、単独事業については、前年度比△1.87%、250万9千円の減となっています。

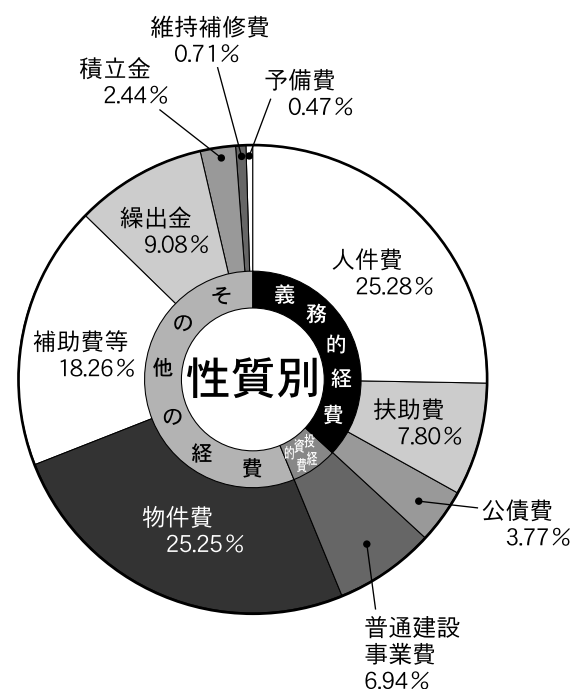


その他の経費

その他の経費については、前年度比12.15%、1億2,871万4千円の増となりました。このうち、繰出金については各特別会計への繰出金の増額などから、前年度比15.92%、2,634万9千円の増となっています。

性質別歳出

項目	予算額
義務的経費 36.85%	7億7,932万円
人件費	5億3,452万5千円
扶助費	1億6,504万7千円
公債費	7,974万8千円
投資的経費 6.94%	1億4,667万7千円
うち普通建設事業費	1億4,667万7千円
うち補助事業費	1,467万8千円
うち単独事業費	1億3,199万9千円
その他の経費 56.21%	11億8,847万3千円
物件費	5億3,382万8千円
維持補修費	1,503万1千円
補助費等	3億8,602万8千円
積立金	5,169万円
繰出金	1億9,189万6千円
予備費	1,000万円
歳入合計	21億1,447万円



※割合は、端数調整しています

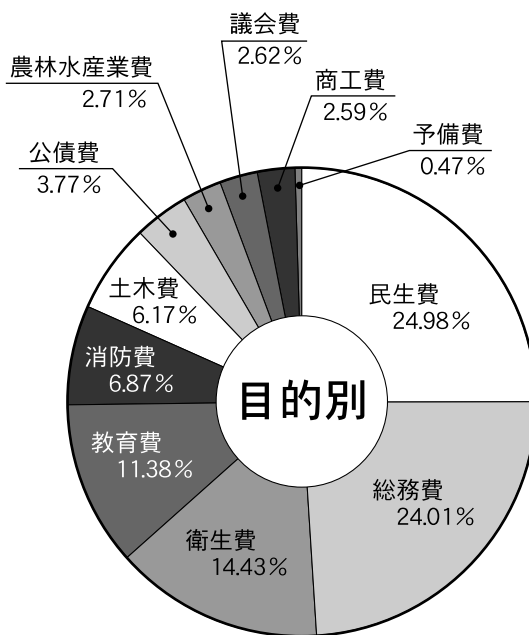
目的別歳出

目的別歳出のうち主な増減については、総務費について、道の駅なるさわ浄化槽改修工事の完了などにより、前年度比△15.1%、9,031万円の減、衛生費について、新型コロナウイルスワクチン予防接種事業や簡易水道事業特別会計繰出金の増加などにより、前年度比14.48%、3,859万4千円の増、商工費については、くらし応援商品券発行事業などにより、前年

度比186.91%、3,569万7千円の増、消防費については、消防本部新庁舎建て替え工事による負担金の増などにより、前年度比28.79%、3,247万8千円の増、教育費については、春日神社補修工事に伴う補助金交付などにより、前年度比12.39%、2,652万1千円の増となっています。

目的別歳出

項目	予算額
議会費	5,542万7千円
総務費	5億773万1千円
民生費	5億2,813万3千円
衛生費	3億513万円
農林水産業費	5,717万9千円
商工費	5,479万6千円
土木費	1億3,050万6千円
消防費	1億4,528万円
教育費	2億4,054万円
公債費	7,974万8千円
予備費	1,000万円
歳出合計	21億1,447万円



※割合は、端数調整しています

特別会計予算 9億883万7千円

(対前年度 4,179万9千円の増)

令和4年度鳴沢村国民健康保険、簡易水道事業、介護保険、介護予防支援事業、後期高齢者医療の各特別会計の当初予算額は総額9億883万7千円で、前年度比4.82%、4,179万9千円の増となっています。

特別会計名	予算額	対前年度増減率
国民健康保険	4億333万円	△0.52%
簡易水道事業	1億1,307万7千円	19.31%
介護保険	3億3,741万1千円	7.35%
介護予防支援事業	98万5千円	△73.80%
後期高齢者医療	5,403万4千円	10.87%
合計	9億883万7千円	4.82%

目的別歳出の主な事業

■ 議会費 5,542万7千円

議員報酬や議会活動に使われます。

【主な事業】
議会運営事業
総額 3,684万2千円



■ 総務費 5億773万1千円

総務管理のほか、税務・企画・戸籍・選挙・統計・交通安全などに使われます。

【主な事業】
共通電算機整備・管理事業
総額 3,685万6千円
鳴沢いきやりの湯運営事業
総額 2,468万3千円
地域情報通信基盤整備推進事業
総額 2,103万3千円



■ 民生費 5億2,813万3千円

安定した社会保障を行うため、福祉・年金・児童手当・保育所などに使われます。

【主な事業】
自立支援給付助成事業
総額 8,396万7千円
児童手当支給事業
総額 4,120万円
保育所運営事業
総額 3,215万円6千円



■ 衛生費 3億513万円

生活環境の整備、住民健診などに使われます。

【主な事業】
ごみのないまちづくり推進事業
総額 7,315万9千円
新型コロナウイルスワクチン予防接種事業
総額 4,507万1千円
環境整備事業
総額 1,706万8千円



■ 農林水産業費 5,717万9千円

農業委員会・農林業振興などに使われます。

【主な事業】
有害鳥獣対策事業 総額 765万6千円
林業行政諸費 総額 712万9千円
県有地転貸事業 総額 693万4千円

■ 商工費 5,479万6千円

商工・観光振興などに使われます。

【主な事業】
くらし応援商品券発行事業
総額 3,356万2千円
観光振興事業
総額 462万7千円
商工振興事業
総額 187万4千円



■ 土木費 1億3,050万6千円

村道の改良・維持管理や生活基盤の整備などに使われます。

【主な事業】
村道改良事業 総額 5,756万円
村道維持補修事業 総額 1,817万円
村道除雪事業 総額 1,797万4千円

■ 消防費 1億4,528万円

消防施設の整備や常備消防運営費・村消防団活動などに使われます。

【主な事業】
広域行政事務組合消防本部運営事業
総額 1億1,511万円
消防団運営事業
総額 1,099万9千円
防災対策事業
総額 971万2千円



■ 教育費 2億4,054万円

教育委員会、小学校、中学校、社会教育、社会体育などに使われます。

【主な事業】
河口湖南中学校管理運営費
総額 4,199万1千円
学校給食運営事業
総額 2,920万2千円
小学校管理運営費
総額 1,764万円6千円



■ 公債費 7,974万8千円

公共施設などのために過年に借り入れた起債の償還に使われます。